

これらの原野、湖沼ははるか遠くに広がり、

曠

こう

遠

えん

にして

綿

めん

邈

ばく

、

綿

邈

曠

遠

先

広大な山々も遙か彼方に見えるだけである。

巖

がん しゅう

岫

は

杳

よう めい

冥

たり。

杳

冥

※冥と同字

巖

岫

咸

青

国を治める根本は農業である。

治

ち

は

農

のう

を

本

ほん

とす、



虞魚



※本と同字

冬

種をまき収穫するまで努めることだ。

※作物を植え、収穫すること。

茲

こ

の

稼

か
し
よ
く

穡

に

務

つ
と

む。

稼

穡

務

茲

南に面した日当たりの良い畑で耕作をはじめ、

倣

はじ

めて

南

みなみ

の

畝

はた

に

載

こと

をし、

南

倣

覃

畝

載

※畝と同字

黍稷（きび）・粟（あわ）・稗（ひえ）を植え付けて農業に励んだ。

我

わ

れ

黍

しよ

稷

しよく

を

藝

う

う。

黍

稷

我

藝

穀物を租税として納め、新しい五穀を貢ぐのは農民の務め、

熟

じゆく

せるを

税

ぜい

とし

新

しん

を

貢め、

おさ

貢

新

税

※税と同字

熟

※熟と同字

真

よく納める者には賞をもって励まし、怠る者には罰を与える。

勸

かん

賞

しょう

し

黜

ちゆうつ

陟

ちよく

す。

※功なき人をしりぞけ、功ある人を用いる。



※勸と同字。



孟子は人の善を愛した、

孟

もう

軻

か

は

素

そ

を

敦

あつ

くし、

敦

素

孟

軻

元●

歌●

史魚は正直一途に生き、君に従わず自害するという直な人であった。
※人名

史

しぎよ

魚

は

直

ちよく

を

秉

と

る。

秉

直

史

魚